

# 魅力あふれる桜の祭典

## 岩日タイムズ

発行者  
岩瀬 日本大学  
高等学校  
新聞部  
田崎駿介  
深澤圭吾  
高野裕崇  
井坂創一朗  
杉山侑暉  
佐藤真希  
相澤優花  
飯岡更紗  
岡野未歩  
築真優子  
橋詰美香  
谷田部華蓮

### 桜川市の魅力が盛りだくさん ～SAKURAフェスティバル～

4月15日、桜川市岩瀬総合運動公園において「第2回SAKURAフェスティバル」が開催されました。昨年に引き続き、本校のチアリーディング部がダンス



演技を披露するチアリーディング部

を披露しました。当日は強風により演技中に使用していたパネルが飛ばされてしまふなどハプニングもありましたが、笑顔があふれる部員の息のあったパフォーマンス

「昨年に続いて参加させていたいただいて嬉しかったです。このステージは3年生だけで立つ最後のステージだったのでとても思い出に残りました。また、新しく入部してくれた2人の1年生を含めた全員で、文化祭のステージや野球応援などに向けて更にレベルアップしていきたいです。6月の文化祭のステージでは、また違った私たちを見てくれたら嬉しうです」と笑顔で話してくれました。

マンスに対し、来場者の大きな拍手と歓声に包まれていました。また、昨年度退職された青木前教頭先生も私たち生徒の活躍を見るために会場へ足を運んでくださいました。チアリーディング部の部長の廣瀬沙耶さんに今回の感想を伺いました。

カラーボールキャッチでは、メインステージから投げられたボールをキャッチした人が景品をもらえるというので、ボールを捕ることに必死で隣の人とぶつかり合うなど熱狂ぶりでした。景品にはお菓子や餅、うどん、地元産の小玉すいかなど

他にも「さくら姫コンテスト」や「カラーボールキャッチ」というイベントもありました。さくら姫コンテストでは、選ばれた5名が持ち時間でアピールしたり、審査員からの質問に答えます。審査員と観客の投票によって選ばれた優勝者は、今年の桜川市の観光大使になるそうです。



防災コーナーで救命講習を体験する部員

があり、中には景品を持ちきれないくらい抱えた人も見られました。そして昼時になると手打ちそばのテントでは行列ができていました。消防署のブースでは、AEDや救急車の乗車体験など、普段の生活ではなかなか経験できないようなコーナーも充実しており、私たちも人形を使った胸骨圧迫やAEDの正しい使い方などを署員の方から教えていただきました。(相澤)

今回取材して特に感じたことは、来場者が小さな子どもからお年寄りまで老若男女幅広く、地域の方々と触れ合いがたくさんできる、ということでした。改めて桜川市の魅力を実感し、積極的に発信したいと考えました。そして本校のチアリーディング部の演技は、観客の私たちがまでも笑顔にさせてくれるパフォーマンスでした。(佐藤)

### 編集後記